本書の構成と検索方法

この取扱説明書の全体像が知りたいとき	「**目次**」では、この取扱説明書の章構成と各章内の機能が一覧できます。また、各章内の詳しい目次は、各章の最初のページ「**扉**」に記載しています。	**目次** P.vi **各章扉** P.1-1～11-1
構成やサービス名がわかっているとき	「**索引**」を確認しましょう。本機の名称と一般的な名称の違いもありますので、複数の角度から探してみてください。よく使われる機能は、「**目次**」から探すほうが早いこともあります。	**索引** P.11-18 **目次** P.vi
したいことや目的が決まっているとき	「**したいこと検索**」をご覧ください。購入後よくお使いになる機能や基本機能を、目的別に紹介しています。また、削除や登録といった操作の目的は、「**索引**」からでも探しやすくなっています。	**したいこと検索** P.ii **索引** P.11-18
この電話機でできることが知りたいとき	「**できること検索**」がおすすめです。本機ならではの機能や、ソフトバンクケータイ独自の便利なサービス、便利な機能などを紹介しています。また、「**目次**」でもできることが一覧できます。	**できること検索** P.iv **目次** P.vi
画面内の項目やアイコンの意味が知りたいとき	メインメニューの項目は、「**メニュー操作**」で確認できます。アイコンの意味は、「**画面の見かた**」をご覧ください。それ以外の表示については、お使いの機能の説明ページをご覧ください。	**メニュー操作** P.2-2 **画面の見かた** P.1-4
動作がおかしい故障かな？と思ったとき	「**故障かな？と思ったら**」をご覧ください。設定や状況によるもので故障ではない場合があります。解決しないときは、「**保証とアフターサービス**」をお読みのうえ、故障受付にご相談ください。	**故障かな？と思ったら** P.11-7 **保証とアフターサービス** P.11-25

したいこと検索

新しいケータイを友達に知らせたい

自分の電話番号を確認したい

自分の電話番号は、簡単な操作で確認できます。

自分の電話番号確認⇒P.3-3

メールアドレスを変更したい

お好きなEメールアドレスに変更できます。迷惑メールの防止にも役立ちます。

メールアドレス変更⇒P.4-3

自分だけのケータイに設定したい

まず一通りの設定をしたい

本機には「初めて使う時の設定をする」があり、壁紙や着信音などをガイドに沿って一通り設定することができます。

初めて使う時の設定⇒P.1-10

着うた®などを着信音にしたい

着信音設定で着うた®を選ぶだけでOKです。音楽ファイルや動画ファイルも利用できます。

着信音の設定⇒P.10-5

とにかく早く基本操作を覚えたい

操作の基本を覚えたい

メニューによる機能選択が操作の基本です。ボタンの使いかたなども覚えておきましょう。

メニュー操作⇒P.2-2
ボタン操作⇒P.xi

操作の練習をしたい

メニューの選択や文字の入力など、携帯電話を初めてお使いになる方も基本的な操作を練習できます。

操作の練習⇒P.8-14

電話やメール以外でも楽しく便利に使いたい

デジカメ／デジタルビデオとして使いたい

内蔵のカメラを使って静止画／動画撮影を楽しみましょう。

静止画撮影⇒P.6-3
動画撮影⇒P.6-5

クイズで遊びたい

「県名クイズ」、「寿司ネタクイズ」、「仲間外れ探し」の3つがあります。頭の体操をしてみましょう。

クイズ⇒P.8-10

電話機にアドレスを登録したい

自分のEメールアドレスを、自分の番号に登録しておきましょう。ほかの人とのやりとりにも便利です。

自分の番号⇒P.3-11

友達に一斉にアドレスを伝えたい

メールを送るだけで伝えられます。また、複数の人にも、同じメールを同時に送信できます。

メール送信⇒P.4-4、P.4-7
宛先追加⇒P.4-14、P.4-15

電話としてすぐに使いたい

音声電話はもちろんTVコールも利用できます。便利な電話機能もいろいろあります。

音声電話⇒P.3-4
TVコール⇒P.3-6

待受画面をアレンジしたい

内蔵のカメラで撮影した写真を壁紙に設定できます。

壁紙設定⇒P.10-2

メインメニューの表示を選びたい

メインメニューの表示形式を3種類から選択できます。

メインメニューの表示形式⇒P.2-2

文字入力のしくみを覚えたい

メールや電話帳では文字入力が必要です。便利な入力機能も活用しましょう。

文字入力⇒P.2-3

メールを使ってみたい

2つのメール、S!メールとSMSを目的に応じて使い分けましょう。

S!メール⇒P.4-4
SMS⇒P.4-7

インターネットを利用したい

ソフトバンクならではのYahoo!連動サービスが利用できます。

Yahoo!ケータイ⇒P.5-3

できること検索

840Zだから できること

緊急ブザー

お出かけ先で急に体調が悪くなったときなど、緊急ブザーでブザーを鳴らし、周囲に注意を呼びかけます。
また、同時にご家族に電話をかけたり、居場所を知らせるメールを送信することもできます。

緊急ブザー⇒P.8-3

自宅ボタン

自宅の電話番号を登録しておくと、ワンタッチで電話がかけられます。すぐに自宅へ連絡できて安心です。

設定する⇒P.2-12
電話をかける⇒P.3-4

ソフトバンク ケータイだから できること

Yahoo!ケータイサイト

見やすいソフトバンクケータイ専用のインターネット画面を搭載。
表示項目を選択するだけで、より快適にインターネットを楽しむことができます。

➡P.5-3

位置ナビ

S! GPSナビの機能を利用して、自分のいる場所をご家族などにお知らせできます。

➡P.8-5

おなじみの機能も さらに使いやすく

電話帳

ガイドに沿って簡単登録。検索方法の切り替えなど、基本機能が充実しています。

➡P.2-8、P.10-12

目覚まし時計

本機を目覚まし時計として使用できます。
目覚まし時計は、3つまでセットでき、同じ時刻に毎日鳴らすこともできます。

➡P.8-7

ワンタッチダイヤル

よくかける相手の電話番号やメールアドレスをワンタッチダイヤルに登録すると、簡単操作で電話をかけたり、メールを送信することができます。

設定する⇒P.2-12
電話をかける⇒P.3-4
TVコールをかける⇒P.3-6
メールを送る⇒P.4-9

毎日連絡メール

1日1回の開閉で、家族などよく連絡する相手先へ自動でメールを送信します。常にご家族が見守ってくれるので安心です。

➡P.9-5

操作の練習

メニューの選択や文字の入力など、携帯電話を初めてお使いになる方も基本的な操作を練習できます。

操作の練習⇒P.8-14

オプションサービス

転送電話、留守番電話などのオプションサービスで電話の利用をしっかりサポートします。

➡P.3-8

バーコードリーダー

最近よく見かけるQRコード。本機で読み取れば、いろいろな情報にすぐに接続できます。

➡P.8-11

314万画素カメラ

高精細314万画素のカメラを搭載。きめの細かい静止画／動画が撮影できます。

➡P.6-2

microSDメモリカード／microSDHCメモリカード

小型で大容量データの保存が可能なmicroSDメモリカード／microSDHCメモリカードに対応。パソコンとのやりとりも手軽に行えます。

➡P.6-11

目次

10 電話をお好みに設定する

11 資料／付録

はじめに

このたびは「SoftBank 840Z」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ●SoftBank 840Zをご利用の前に、この「取扱説明書」および「見ながら覚えるケータイ電話」をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- ●本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- ●本書を万一紛失または損傷したときは、**お問い合わせ先**（11-26ページ）までご連絡ください。
- ●ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

SoftBank 840Zは、3G方式とGSM方式に対応しています。

ご注意

- ・本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されています。
- ・本書の内容は将来、予告なしに変更することがございます。
- ・本書の内容については万全を期していますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら**お問い合わせ先**（11-26ページ）までご連絡ください。
- ・乱丁、落丁はお取り替えいたします。

「SoftBank 840Z」には、この「取扱説明書」と「見ながら覚えるケータイ電話」が付属されています。
- ・本機の操作を練習したい場合は「見ながら覚えるケータイ電話」をお読みください。
- ・各機能の詳しい使いかたを知りたい場合はこの「取扱説明書」をお読みください。
- ・「取扱説明書」、「見ながら覚えるケータイ電話」はダウンロードすることもできます。パソコンで下記URLに接続してください。
  http://www.softbank.jp/mb/r/support/840z/

お買い上げ品の確認

●電話機※	●電池パック（ZEBAA1）	●電池カバー
●卓上ホルダー（ZEEAA1）	●見ながら覚えるケータイ電話	●取扱説明書

※本機の充電にはソフトバンクの指定した充電器（オプション品）を使用してください。

● 本機の充電器および、その他のオプション品（お買い上げ品に含まれていない別売品）につきましては、最寄りの**ソフトバンクショップ**または**お問い合わせ先**（11-26ページ）までご連絡ください。
● 本機は、microSDメモリカード／microSDHCメモリカード（以降、メモリカードと記載）を利用できますが、本製品にはメモリカードが同梱されていません。メモリカードに関する機能をご利用いただくためには、市販のメモリカードをお買い求めください。

本書の見かた

本書では、840Zを「本機」と記載しています。あらかじめご了承ください。

各章について

1章「準備をする」……………………本機をお使いになる前の準備や基本的な知識を説明しています。
2章「基本的な操作をする」…………基本的な機能や共通操作を説明しています。前半で基本操作を、後半で応用操作を説明しています。
3章〜9章 ……………………………本機で利用できる機能を章単位で説明しています。各章の前半で基本操作を、後半で応用操作を説明しています。
10章「電話をお好みに設定する」……1章〜9章までの設定変更について説明しています。
11章「資料／付録」……………………お買い上げ時の登録情報や索引などを記載しています。

使いこなしチェック！

便利

電話帳管理に関する機能
（▶ 2-15ページ）
- 表示する電話帳を切り替えたい

⋮

2章〜9章の基本操作のページにあります。各機能の応用操作を紹介していますので、確認したいときは各章の「便利な機能」を参照してください。

設定

電話帳のグループに関する設定
（▶ 10-12ページ）
- グループ名を変更する

⋮

各機能の設定項目を紹介していますので、確認したいときは10章の「電話をお好みに設定する」を参照してください。

記号について

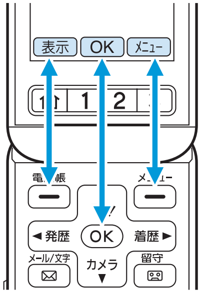
本書では、「➡」、「➡」、「▶」を使用して操作の手順を示しています。
項目の選択は基本的に（センターボタン）で行います。また、操作説明は省略している場合があります。

ディスプレイ表示、ボタン表示について

本書で記載しているディスプレイ表示は実際の表示とは異なる場合があります。
本書で記載しているボタン表示は説明用に簡略化しているため、実際の表示とは異なります。

ソフトボタンの使いかた

画面下の左右に表示されている内容を実行する場合は、それぞれの表示に対応するボタンを押します。



- メニュー など、画面右下の機能を操作する場合は、Rソフト（右）ボタンメニューを押します。
- 登録内容の編集など、画面左下に表示された機能を操作する場合は、Lソフト（左）ボタン電話帳 を押します。

- ソフトボタンに対応する表示内容は、利用する機能によって異なります。
- 本書ではソフトボタンを押す場合の操作を以下のように記載しています。
  - ・基本操作　　　：➡電話帳（編集）／➡メニュー
  - ・応用／設定操作：➡電話帳／➡メニュー

カーソルボタンの使いかた

上下や左右を押して項目を選んだり、カーソル（青背景で白字に反転している所）を移動します。また中央を押して選んだ内容を決定・実行します。

操作 （本書での表記）	機能
上を押すとき	音量を大きくする カーソルを上に移動する Y!ケータイに接続する
下を押すとき	音量を小さくする カーソルを下に移動する カメラを起動する
左を押すとき	発信（かけた）履歴を呼び出す カーソルを左に移動する
右を押すとき	着信（受けた）履歴を呼び出す カーソルを右に移動する
中央を押すとき	選択している項目を決定・実行する 撮影する（シャッター）

安全上のご注意

・ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
・ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
・本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。
内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3のみの発生が想定される」内容です。

※1　重傷とは失明、けが、やけど（高温･低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。
※2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいう。
※3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す。

絵表示の説明

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

禁止	**禁止**（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
指示	**指示**に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

免責事項について

・地震・雷・風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・本製品の故障、修理、その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・お客様ご自身で登録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

本機、電池パック、USIMカード、充電器（オプション品）、メモリカード（オプション品）の取り扱いについて（共通）

⚠危険

指示

本機に使用する電池パック・充電器（オプション品）・卓上ホルダー（オプション品）は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。

分解禁止

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。
火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。
機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

禁止

本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

警告

禁止

本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機と充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

指示

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。
ガスに引火する恐れがあります。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

禁止

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。
1. コンセントから充電器を持ってプラグを抜いてください。
2. 本機の電源を切ってください。
3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子、メモリカードスロットに水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障などの原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレーター設定中や充電中は、特にご注意ください。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。

使用中においても指示どおりに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

⚠危険

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止

電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示

電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。

失明などの原因となります。

⚠警告

指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示

電池パックの使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。
異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠注意

禁止

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

本機の取り扱いについて

⚠警告

禁止

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。
交通事故の原因となります。乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

指示

車載用機器などは、次のことを守り設置、配線をしてください。
・運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない
・シートベルトの脱着部やドアなどの可動部に挟まない
コード類が足や運転装置にからむと運転の妨げになり、事故の原因となります。また、車載用機器などの落下に驚いて、急ブレーキや急ハンドルの操作により事故の原因となります。

指示

通話・メール・撮影などをするときは周囲の安全を確認してください。
安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

禁止

電話機をズボンのポケットに入れたまま、座席や椅子に座らないでください。

無理な力がかかるとディスプレイや電池パックなどが破損し、発熱・発火・けがの原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植え込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

指示

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。

機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

指示

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える恐れがあります。

指示

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。

視力低下などの傷害を起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

⚠注意

禁止

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

指示

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	材質／表面処理
外装ケース（メインディスプレイ側）	マグネシウム合金／アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（ワンタッチボタンカバー、サブディスプレイ側、ボタン操作側、メインカメラ側、電池部）、ワンタッチボタン操作部、ボタン操作部、サイドキー	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
メモリカードスロットキャップ、外部接続端子キャップ、イヤホンマイク端子キャップ	エラストマー樹脂／PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
メインカメラパネル、モバイルライトパネル	アクリル樹脂／アクリル系UV硬化インク
メインディスプレイパネル、サブカメラパネル、レシーバー／スピーカー部	強化ガラス／ポリエステルフィルム
サブディスプレイパネル	アクリル樹脂／IMD箔
緊急ブザースイッチ、緊急ブザースイッチロックボタン	POM樹脂
カメラリング	PC樹脂／スズ蒸着、アクリル系UV硬化塗装処理
充電端子	ステンレス鋼／金メッキ（下地：ニッケルメッキ）
ネジ	鉄／ニッケルメッキ

禁止

本機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

メインディスプレイ、サブディスプレイに貼られているポリエステルフィルムははがさないでください。
強化ガラスの飛散防止のポリエステルフィルムをはがして使用した場合、メインディスプレイ、サブディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

禁止

ストラップなどを持って本機をふり回さないでください。
本人や周囲の人に当たったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。
長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

禁止

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

指示

本機を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

指示

耳元で緊急ブザーを鳴らさないでください。
耳に障害をおこす原因となります。

USIMカード、メモリカード（オプション品）の取り扱いについて

⚠注意

禁止

メモリカードスロットにメモリカード（市販）以外のものを入れないでください。
発熱・感電・故障の原因となります。
通常はキャップをはめた状態でご使用ください。

指示

メモリカード（市販）の取り付けや取り外しをするときは、顔などを近づけないでください。また、小さなお子様には触らせないでください。
カードから指を急に離した際にカードが飛び出して、けがの原因となります。

禁止

メモリカード（市販）のデータ書き込み・読み出し中に、振動・衝撃を与えたり、メモリカードを取り出したり、電話機の電源を切らないでください。
データ消失・故障の原因となります。

禁止

メモリカード（市販）は対応品以外のものを使用しないでください。
データ消失・故障の原因となります。
記憶容量が8Gバイトまでのメモリカードに対応しています。

禁止

USIMカードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えないでください。
故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようにご注意ください。

禁止

USIMカードは指定以外のものを使用しないでください。
指定以外のカードを使用すると、データの消失・故障の原因となります。

充電器（オプション品）の取り扱いについて

⚠警告

禁止

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもって火災や故障などの原因となります。

禁止

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。
急速充電器：AC100V～240V（家庭用交流 ACコンセント専用）
また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災・故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持ってコンセントからプラグを抜いてください。
感電・発煙・火災の原因となります。

指示

プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。
火災の原因となります。

指示

充電器をコンセントに差し込むときは、卓上ホルダーの端子および充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。
感電・ショート・火災などの原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。
感電や故障などの原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。
感電などの原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。
感電などの原因となります。

指示

充電器をコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

禁止

充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。

禁止

通話中は卓上ホルダー（オプション品）の充電端子に長時間触れないでください。
低温やけどになる恐れがあります。

禁止

汗をかいた手で触ったり、汗をかいて湿気のこもった衣服のポケットなどに入れないでください。
汗や湿気によって内部が腐食し、発熱・故障の原因となることがあります。

禁止

急速充電器（オプション品）のコードを引っ張ったり、無理に曲げたり、巻きつけたりしないでください。また、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づけたりしないでください。
コードの破損により感電･発熱･発火の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠警告

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会）に準拠、ならびに「電波の医用機器などへの影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。
電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

●この電話機は電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
●この電話機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。また劇場や乗り物などによっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。
●この電話機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
●一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、音声や映像などに影響を与えることがありますのでご注意ください。
●この電話機はデジタル方式の優位性、特殊性として電波の弱い極限まで一定の高通話品質を維持し続けます。したがって、通話中にこの極限を超えてしまうと、突然通話が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
●デジタル方式は高い秘話性を有しておりますが、電波を利用している以上盗聴される可能性もあります。留意してご利用ください。
●以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。
・誤った使い方をしたとき
・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・動作中に電源を切ったとき
・電池の充電量がなくなった（放電しきった）とき
・故障したり、修理に出したとき
●初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。電池パックは使用しなくても長期保管しておくと徐々に放電していきます。
●メモリカード（市販）をご使用される場合は、ご使用前にメモリカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。
●電話機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

●海外に持ち出す物によっては、「輸出貿易管理令および外国為替令に基づく規制貨物の非該当証明」という書類が必要な場合がありますが、本機を、旅行や短期出張で自己使用する目的で持ち出し、持ち帰る場合には、基本的に必要ありません。ただ、本機を他人に使わせたり譲渡する場合は、輸出許可が必要となる場合があります。
また、米国政府の定める輸出規制国（キューバ、朝鮮民主主義人民共和国、イラン、スーダン、シリア）に持ち出す場合は、米国政府の輸出許可が必要となる場合があります。
輸出法令の規制内容や手続きの詳細は、経済産業省安全保障貿易管理のホームページなどを参照してください。
●補聴器をお使いでこの電話機をご使用になる場合、一部の補聴器の動作に干渉することがあります。もし干渉がある場合は補聴器メーカーまたは販売業者までご相談ください。
●緊急ブザーは必ずしも犯罪防止や安全を保証するものではありません。

自動車内でのご使用にあたって

●運転をしながら電話機を使用することは、法律で禁止されていますので、ご使用にならないでください。
また、各都道府県の規制によっては、運転中のステレオイヤホンマイク（オプション品）による通話にも罰金が科される場合があります。
●駐停車が禁止されていない安全な場所に自動車を止めてからご使用ください。

航空機内でのご使用について

●本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

お取り扱いについて

●雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水に濡らさないよう十分ご注意ください。電話機·電池パック·充電用機器（オプション品）·ステレオイヤホンマイク（オプション品）などは防水仕様ではありません。
●この電話機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。
●この電話機を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
●電話機をお手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
●電池パックは電源を入れたままはずさないでください。故障の原因となります。
●電話機から電池パックを長い間はずしていたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化することがありますのでご注意ください。なお、これらに関して発生した損害につきまして、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●電池パックは消耗品で、リチウムイオン電池を使用しています。使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換が必要です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

●交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックは、普通ゴミと一緒に捨てないでください。不要になった電池パックは端子部を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて**ソフトバンクショップ**またはリサイクル協力店にお持ちください。電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例にしたがって処分してください。

Li-ion

●電池パックを取り外すときは、必ず本体のくぼみに指先を入れてから電池パックの片側を持ち上げてください。無理に取り外そうとすると、端子部が破損するおそれがあります(11-5ページ)。

●この電話機のディスプレイは特性上、画素欠けや常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。また、長時間同じ画像を表示させていると残像が発生する可能性があります。

●ステレオイヤホン変換ケーブル(オプション品)・ステレオイヤホンマイク(オプション品)はイヤホンマイク端子にしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んでいると、通話時、相手の方にノイズが聞こえる場合がありますのでご注意ください。

●ステレオイヤホンマイク(オプション品)などをご使用中に音量を上げすぎないでください。耳に負担がかかり障害が出たり、適度な音量でも長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。また、音が外にもれてまわりの方の迷惑になったり、歩行中などでは周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。

●通常は、イヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップ、メモリカードスロットキャップなどをはめた状態でご使用ください。キャップをはめずに使用していると、ほこり・水などが内部に入り故障の原因となります。

●ステレオイヤホン変換ケーブル(オプション品)、ステレオイヤホンマイク(オプション品)などを端子から抜くときは、コード部分を引っ張らずプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張ると破損・故障の原因となります。

●ストラップ・ステレオイヤホンマイク(オプション品)などを挟んだまま、電話機を折りたたまないでください。故障や破損の原因となります。

●この電話機の通信用アンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分(1-3ページ)を手で触れたり覆ったりすると電波感度が弱まることがあります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないようにしてください。電波感度が弱まると、発着信、メールの送受信、ウェブの接続ができなくなる場合があります。

●機種変更・故障修理などで、電話機を交換するときは、電話機に保存されたメールやデータなどを引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。

●USIMカードを濡らさないでください。また、湿気の多いような場所に置かないでください。故障の原因となります。

●USIMカードを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

●USIMカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。故障の原因となります。

●USIMカードを火のそばや、ストーブのそばなど高温の場所にて使用および放置しないでください。故障の原因となります。

●USIMカードを保管する際、直射日光や高温多湿な場所は避けてください。放置した場合、故障の原因となります。

●USIMカードは乳幼児の手の届かない場所に保管するようにしてください。誤って飲み込んだり、けがの原因となったり

する場合があります。
- USIMカードの取り扱いについては、ご使用前にUSIMカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。
- 緊急ブザーをご使用になる際は、取扱説明書（8-3ページ）をよくお読みになり、正しくお使いください。

機能制限について

- 機種変更または解約した場合、本機では以下の機能が利用できなくなります。
  ・カメラ
- 本機を長期間お使いにならなかった場合、上記の機能が利用できなくなる可能性があります。その際は**お問い合わせ先**（11-26ページ）までご連絡ください。

カメラのご使用について

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- カメラのレンズに太陽の光が進入する状態で放置しないでください。レンズの集光作用により、故障の原因となります。
- 大切なシーン（結婚式など）を撮影される場合は、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。
- 撮影が禁止されている場所での撮影はおやめください。

モバイルライトについて

- 高温もしくは低温下または湿気の多いところではご使用にならないでください。モバイルライトの寿命が短くなることがあります。
- モバイルライトには寿命があります。発光を繰り返すうち、光量が減ってきます。

スピーカーについて

- 本機はレシーバー（受話口）とスピーカーが兼用になっているため、音の再生／着信時などに、大きな音がスピーカーから直接耳に入る恐れがあります。大きな音で耳を刺激すると聴力に悪い影響を与える可能性があります。通話後はすぐ耳から離すなど注意してご使用ください。

著作権などについて

●音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権などについて

●他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

ソフトウェア使用許諾契約書

ZTE Corporation（以下、ZTEといいます。）が提供するZTE製携帯電話上のソフトウェア（以下、本ソフトウェアといいます。）を使用その他の処分をされる前にこのソフトウェア使用許諾契約（以下、本契約といいます。）を注意深くお読みください。本契約のすべての条項に同意できない限り、お客様は本ソフトウェアを使用その他の処分を行うことはできません。本契約は、お客様とZTEとの間で締結されたものとみなされ、本契約とともに提供されるZTEまたはそのライセンサーの著作物たる本ソフトウェアに関して適用されます。

1．使用許諾

ZTEはお客様ご本人に対し、ZTE製携帯電話上の本ソフトウェアを使用する譲渡不能かつ非独占的な権利を許諾します。お客様は本ソフトウェア、その関連書類、本契約で許諾された権利の一部または全部を、改変、翻訳、レンタル、コピーまたは譲渡することはできません。また本ソフトウェアに記載された著作権表示、ラベル、商標またはその他のいかなるマークも除去することはできません。さらに本ソフトウェアをベースにした派生品を作成することもできません。

2. 著作権

本ソフトウェアは使用許諾されるもので販売されるものではありません。本ソフトウェアに関するいかなる知的財産権もお客様に譲渡されるものではありません。本ソフトウェアに関するすべての権利はZTEまたはそのライセンサーが保有するものであり、本契約に明示的に記載されていない限り、いかなる権利もお客様が有するものではありません。また、お客様は、本ソフトウェアに記載された著作権表示、ラベル、商標その他のいかなるマークも除去することはできません。

3. リバースエンジニアリング

お客様は本ソフトウェアの一部またはすべてをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、改変、翻訳もしくは逆アセンブルすることができません。お客様が法人の場合には自己の従業員に本項に規定する禁止事項を遵守せしめるものとします。本項および本契約の規定を遵守できなかった場合は、ZTEはお客様に対する何らの催告を要せずただちに本契約を解除できるものとします。

4. 保証

本ソフトウェアは現状有姿で提供され、ZTEは本ソフトウェアに関し、その品質、性能、商品性および特定の目的への適合性に対する保証を含め、あらゆる明示または黙示の保証も致しません。

5. 責任の限定

ZTEは、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じたお客様の損害について一切責任を負いません。いかなる場合においても、本ソフトウェアおよび本契約に基づくZTEの責任は、本ソフトウェアに対してお客様が実際に支払った金額があれば当該金額を上限とします。

また、修理や点検の場合、お客様のZTE製携帯電話に登録された情報内容（アドレス情報など）が変化、消去するおそれがあります。情報内容は、別にメモを取るなど必ずお控えください。情報が変化、消失したことによる損害などの請求につきましては、ZTEは一切責任を負いません。

6. 準拠法

本契約は、日本国法に準拠するものとし、本契約に関し紛争が生じた場合には、東京地方裁判所を管轄裁判所とするものとします。

7. 輸出管理

お客様は、本ソフトウェアに関し、「外国為替及び外国貿易法」及び関連法令ならびに「米国輸出管理法および同規則」（以下、関係法令等という。）を遵守するものとします。お客様は、関係法令等に基づき必要とされる日本国政府または関係国政府等の許可を得ることなく、関係法令等で禁止されているいかなる仕向地、自然人若しくは法人に対しても直接または間接的に本ソフトウェアを輸出、再輸出しないものとし、また第三者をして輸出させてはならないものとします。

8. 第三者ライセンサーの権利

お客様は、本ソフトウェアに関するZTEのライセンサーが、自己の権利と名において本契約内容を実現する権利を有することを了承するものとします。

以上

商標

microSDロゴは商標です。

microSDHCロゴは商標です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG-LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC.
SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

着うた®、着うたフル®は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

S!メール、S! GPSナビ、安心遠隔ロックはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

Adobe, the Adobe logo, Flash and Flash Lite either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Mobile Client Suiteを搭載しています。
ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種840Zの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの証明（技術基準適合証明）を受ける必要があります。

この携帯電話機840Zも財団法人テレコムエンジニアリングセンターから技術基準適合証明を受けており、SARは1.44W/kgです。この値は、技術基準適合証明のために財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディSARポリシー」について

当社では、ボディSARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。ソフトバンクモバイルのホームページからも内容をご確認いただけます。
http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

＊ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。

＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。

＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。
Cellular Telecommunications & Internet Association（CTIA）のホームページ
http://www.phonefacts.net（英文のみ）

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」
米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は0.668W/kgです。

身体装着の場合：携帯電話機840Zでは、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications & Internet Association
（CTIA）のホームページ
http://www.phonefacts.net（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」
携帯電話機840Zは無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで身体に装着した場合のSARの最高値は0.676W/kg*です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。
世界保健機構は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機構のホームページをご参照ください。

（http://www.who.int/emf）（和文非対応）

＊身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。